

# 一 般 質 問

平成26年第2回定例会(6月12日)

質 問 者	内 容	答弁を求める者
竹内きみ代	<p>1. 人口減少に於けるまちのあり方について</p> <p>①「消滅可能性都市」の指摘をされたが、現実的な課題にどう対応するのか</p> <p>②危機感持って少子化対策に取り組むべきでは</p> <p>③不妊治療の現状と課題は</p> <p>④不育症治療への公的支援を</p> <p>⑤本町独自の婚活推進支援策が必要と考えるが</p> <p>⑥若者の定住促進を</p> <p>⑦空き家の増加が予測されるが、今後の対策は</p> <p>2. 我がまちの環境問題について</p> <p>①公共の場に LED 照明の活用を</p> <p>②レアメタル等の回収・小型リサイクルの取り組みは</p>	<p>町長 副町長 福祉課長 農村振興課長 地域力推進課長</p> <p>町長 総務課長 農村振興課長</p>
岡本 正意	<p>1. 政府の集団的自衛権行使容認の動きについて</p> <p>(1)政府の動きに対する町長の姿勢、考え方は</p> <p>(2)憲法違反であり、住民を戦争に巻き込み、命と生活を脅かす危険性を広げる集団的自衛権の行使容認に反対をその姿勢を内外に発信すると共に政府に要請を</p> <p>2. 公共交通の充実について</p> <p>(1)「懇話会」の報告をうけて、今後の具体化、取り組みをどう進めるのか</p> <p>(2)奈良交通バス路線について</p> <p>①「全便を和東小止めにし、原山、小杉方面を別路線にする」との提案に対する町の考えは</p> <p>②「別路線」とした場合、利便性の後退や負担が増える可能性はないのか</p> <p>③利用促進について</p> <p>1)交通費負担の軽減は必要。運賃軽減の再開、高校生の通学負担の軽減など、負担軽減に向けた検討を</p> <p>2)町職員の利用実態、今後の利用促進の方向性は</p> <p>3)交流人口の増加をバス利用につなげる対策を</p> <p>(3)コミュニティバスの運行について、「懇話会」報告では運行する方向性が明確に打ち出されている。町として実現に向けて早急に具体化すべきだが、その方針は</p> <p>(4)町営バス和東木屋線については「今後の運行形態について社会実験を行う」としているが、町の考え方は</p> <p>(5)今後のまちづくりを見越し、全住民的な議論を「懇話会」報告の住民への周知、説明と意見集約、反映を</p>	<p>町長</p> <p>町長 総務課長</p>

岡本 正意	<p>3. 消防団等の活動について</p> <p>(1)団員報酬、出動手当等について</p> <p>①消防庁が定める基準額と大きな差があるが町の考えは</p> <p>②消防庁では支給額の引き上げ等の必要性も示しているが、特に出動や訓練等の手当額を見直す考えはないのか</p> <p>(2)町職員による団や隊の組織についての考えは</p> <p>(3)地域の自主防災組織の方向性は</p>	町長 総務課長
-------	---	------------